

「令和3年度福島県産農産物等流通実態調査」

報告書

令和4年3月

農林水産省

(目次)

序 事業概要と本資料の構成	1
1 調査結果の全体像	7
2 生産者と事業者へのアンケート調査	39
3 消費者へのアンケート調査	97
4 福島県産品の取扱いを拡大するためのマーケティング実証調査	131
5 水産物の漁獲量の変動による価格動向の分析調査	181
6 品目別調査結果 米	217
7 品目別調査結果 牛肉	261
8 品目別調査結果 桃	295
9 品目別調査結果 あんぽ柿	327
10 品目別調査結果 ピーマン	355
11 品目別調査結果 ヒラメ	385
12 品目別調査結果 その他の品目	415
(参考) 県産品重点 6 品目の出荷量と価格について	599

序 事業概要と本資料の構成

- 事業名
 - 令和３年度福島県産農産物等流通実態調査委託事業
 - ・ 平成29年度から実施している事業である。
- 事業目的
 - 本事業では、福島県の農林水産業の再生に向けて福島県産農産物等の販売不振等の実態と要因を明らかにし、主要品目別に生産から流通・販売に至るサプライチェーンの各段階における流通実態の調査及び分析を継続的に実施するとともに、福島県産品の取扱拡大に向けた方策の調査等を実施し、その結果を今後の施策の検討に活用する。

- 事業内容
 - 調査及び分析の実施
 - ・ 事業者に対するヒアリングとアンケート、消費者に対するアンケート、事業者が保有するデータの収集、政府統計等の公的データの収集を行った。
 - ・ また、令和２年度に調査した福島県産品と他県産品での価格差の固定化の問題について、解決に向けたマーケティングの実証調査を行った。
 - ・ さらに、福島県における今後の水産物の漁獲量拡大を見据えて、漁獲量の変動による価格動向の分析調査を行った。
 - ・ これらの調査により、福島県産品の流通量・取引価格・流通経路といった流通実態等を把握するとともに、課題の解決に向けた分析を行った。
 - 検討会の開催
 - ・ 客観的で信頼性の高い調査を実施するとともに、効果的・効率的な取りまとめを行うために、検討会を開催した。
 - ・ 検討会には、学識経験者、実務家、農林水産省、復興庁、経済産業省、福島県が参加した。

本資料の構成

- 本資料は、以下の構成により作成されている。

章No.	章タイトル	概要
1	調査結果の全体像	本事業の要点として、主に第1章から第6章の内容について、ポイントをまとめた。
2	生産者と事業者へのアンケート調査	生産者、事業者に対して、福島県産品の出荷状況や取扱状況、仕入における重視点、産地ごとの評価等についてアンケート調査を行い、結果を分析した。
3	消費者へのアンケート調査	消費者に対して、福島県産農産物等の購買状況や、購入先、受容できる価格等についてアンケート調査を行い、結果を分析した。
4	福島県産品の取扱いを拡大するためのマーケティング実証調査	福島県産品の取扱拡大に向けて、小売店頭における販売促進策の実証調査や、事業者の取扱商品選定基準についてのヒアリングを行った。

5

本資料の構成

章No.	章タイトル	概要
5	水産物の漁獲量の変動による価格動向の分析調査	水産物の漁獲量に関して事業者にはヒアリングをするとともに、量と価格の関係を市場のデータから分析した。
6～11	品目別調査結果（重点6品目）	重点6品目（米、牛肉、桃、あんぽ柿、ピーマン、ヒラメ）について、公的データを整理するとともに、追跡調査による価格形成の分析等を記載した。
12	品目別調査結果（重点6品目以外の19品目）	福島県産農産物等19品目について、公的データを整理するとともに、消費者アンケートの結果を記載した。

6